

ゼンスイ活魚水槽

USI◎

取扱説明書

シリーズ共通事項

安全にお使いいただくために

本説明書では製品を安全にご使用いただく為  
様々な記号表示を使用しています。

その記号を無視し誤った取扱いをすることによって生じる内容を  
以下のように区分しております。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

記号表示	 濡れ手禁止	 電源プラグからコンセントを抜く指示	 必ず行う表示
	 水濡れ禁止表示	 分解・改造禁止表示	 一般的な禁止



取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています

感電の原因になる為、濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないでください。 	火災・故障の原因になる為、雷等の異常気象の発生時や予想される場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。 	感電・やけどの原因になる為、お子様がセットされる場合は必ず大人が付き添って指導してください。 
煙・異臭・異音が出た場合は直ちに使用を中止し購入店またはゼンスイお客様サポートへご連絡ください。 	故障・漏電・感電の原因になる為、電源は交流100V以外使用しないでください。 	損傷は火災・感電の原因になる為、電源コードに加工する、薬品や油・水をかける、加熱するなどの負荷はかけないでください。 
感電やケガの原因になる為、お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。 	故障・漏電・感電の原因になる為、本体に水をかけたり洗ったりしないでください。 	感電・トラッキング・火災の原因になる為、電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。 
火災・故障の原因になる為排気口を塞いだりホコリが詰まったままの状態で使用しないでください。 	火災や故障・異音の原因になる為、本体に水がかかった場合は速やかに使用をおやめください。 	故障・火災・感電の原因になる為、分解や改造をしないでください。 



取扱いを誤った場合、人が怪我をしたり物的損害を受ける恐れがある内容を示しています

火災の原因になる為、タコ足配線はしないでください。 	本製品は屋内仕様です。屋外での使用はしないでください。 	故障の原因になる為、水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。 
火災・故障の原因になる為、湿気が多い場所や高温になる場所に設置しないでください。 	敷物の変色・火災の原因になる為、じゅうたん・カーペット・畳の上に直接設置しないでください。 	

## ●排水について

排水は水槽、ろ過槽ともにポンプ上部のバルブで行い、  
水槽の水も一旦バルブで、ろ過槽に落としてから排水します

### 排水の手順

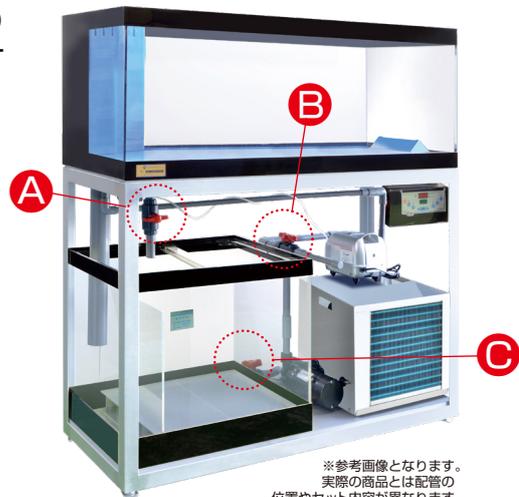
- ①クーラー、ポンプ、エアープンプのコンセントを抜く
- ②バルブ **B** の排水口のキャップをはずし水道用ホース(パイプ13A用・別売)を差し込みホース先端を排水溝に差し込む
- ③バルブ **B** を排水側に向けポンプのコンセントを差し込む(ろ過槽の水が抜けます)
- ④ろ過槽の水が少なくなったら水槽用排水のバルブ **A** を開け水槽の水をろ過槽へ落とす(その際、ろ過槽から水が溢れないようご注意ください)
- ⑤水槽、ろ過槽ともに水がなくなったらポンプのコンセントを抜く(故障の原因になる為、ポンプの空運転は絶対にしないでください)

※水を入れて運転を再開する時は水槽排水用バルブ **A** を閉めバルブ **B** が循環方向(クーラー側)へ向いているのを確認してからポンプのコンセントを差し込んでください。

※バルブ **C** は通常使用しません。循環ポンプ修理、交換時のみ使用しますので通常は閉めないでください。

(クーラー、循環ポンプの故障の原因になります)

※水が循環するのを確認し、最後にクーラーの電源を入れてください。



※参考画像となります。実際の商品とは配管の位置やセット内容が異なります。

## ●水槽について

★洗剤の付いたスポンジ等は絶対に使用しないでください★

アクリル製のため、コケ・汚れなどは  
スポンジや柔らかい布などで拭き取ってください

(たわし等、硬いものを使用すると傷が入ってしまいます)

## ●ろ過槽について

水量は、ろ過槽のみ少なくなっていくます  
水槽はオーバーフロータイプのため常に満水状態です

(魚の出し入れ時や蒸発時は、ろ過槽の水位をご確認ください)

- ◆蒸発によって水が少なくなった場合は水道水を足してください。(海水を足していくと、塩分濃度が濃くなってしまう場合がある為、比重計などでチェックしてください)
- ◆活性炭は3週間程で効果(汚れの吸着)がなくなる為、1ヶ月程で取り除いてください。水の状態が良好であれば新たに活性炭をいれる必要はありません。
- ◆ろ材は海水で洗うのがベストです。水道水で洗った場合、水質が安定するまで魚の量を少なくしてください。(水道水で洗うと水をろ過するバクテリアが死にろ過システムのバランスが崩れる為)
- ◆ろ材は、魚が出す有害なアンモニアや亜硝酸などを餌にして水を浄化する大切なバクテリアの棲家となります。

## ●クーラーについて

### クーラー本体に絶対に水をかけないでください

(漏電や故障の原因になります)

- ◆空冷式ユニットの為、できるだけ風通しの良い状態でご使用ください。
- ◆周辺温度が高いと能力低下の原因になる為、熱源等を周囲に設置しないでください。
- ◆水槽使用開始後、凝縮機コア一部(車のラジエーターのような部分)に空気中のホコリ等が付着すると能力低下の原因になる為、定期的に掃除機等で掃除してください。  
(正面コンデンサー部は大変危険ですので怪我に注意してください)
- ◆コントローラーの設定温度と水温には多少の誤差が生じる場合があります。  
(温度センサーが、ろ過槽から出ない様ご注意ください)

★クーラーの仕様等、詳細はクーラー付属の取扱説明書をご参照ください★

## ●エアープンプについて

### チャンバーブロック式の為、 空気圧縮の弁を必ず1~2年で交換してください

(空気圧縮の弁が破れるとエアが弱くなったり、出なくなる原因となります)

※電磁式

- ◆サービスを依頼される前の点検

#### エアープンプが全く回転しない

- ・停電ではありませんか？
- ・コンセントに確実に差し込みされていますか？
- ・ヒューズやブレーカーが切れていませんか？
- ・電圧の低下はありませんか？

#### 回転するがエアがでない

- ・分散器(エアストーン)が目詰まりしていませんか？
- ・エアープンプのホース配管が外れているところはありませんか？

#### 耳障りな音が鳴る

- ・裾付けにガタつきはありませんか？
- ・エアパイプが外れていませんか？

## ●循環ポンプについて

### マグネットポンプの為、 定期的にもろ過槽の水位をご確認の上 水位低下による空運転にご注意ください

(放熱の関係上故障の原因になります)

- ◆ポンプを止めたり、故障などで止まった時は、クーラーやヒーターのコンセントも抜いてください。過冷熱の原因となります。(エアープンプは作動していても構いません)

## ●ヒーターについて [オプション]

### ヒーターが水面から出ない様、 ろ過槽の水位を常にご確認ください

(空気中で通電すると破損する場合があります)

- ◆ヒーターは余熱が出る為、電源を切った後も、しばらく水に浸けておいてください。
- ◆ヒーター使用時にポンプを停止した際は必ずヒーターの電源を切ってください。
- ◆ヒーターを長期使用すると水質などによっては水に含まれるカルシウム等が付着する場合があります為、定期的に清掃してください。
- ◆ろ過槽に直接ヒーターを入れず必ずヒーターサポート(オプション)を装着ください。

## ●水換え

**長期間使用、または魚の死亡等により水質が悪化した場合、<sup>※</sup>水換えを行ってください**  
※濁り、泡、臭い等

- ◆水換えの際は先にクーラー・循環ポンプ・エアポンプ・ヒーターの電源を切ってください。(安全上、必ず実行してください)
- ◆排水する場合は【P2 排水について】をご参照ください。
- ◆他社の人工海水を使用する場合、必ず水道水の塩素中和、B-4M(ろ過バクテリア)の投入も再度行ってください。(弊社の人工海水にはカルキ抜きが入っています)
- ◆天然海水の場合でも、できればB-4Mも再度投入してください。
- ◆水換え後、バクテリアの減少により、水質が不安定になることがある為、魚の量は少なめに入れてください。
- ◆魚(エビ・貝等)は急激な水質の変化に弱い為、多く入っている時の水換えはお避けください。

## 故障かな?と思ったら

使用中、万一故障と思われたら次のことをご確認ください

### 1) 冷却せずに水温が上昇した場合 ※クーラー、循環ポンプの電源を調べ動作をご確認ください。

#### ●クーラー、循環ポンプ共に作動していない場合

電源プラグの差し込み、ブレーカー・ヒューズ、停電、漏電、ブレーカーの作動等、外的要因の確認をしてください。(原因が判明したら適切な処置を施し、クーラー、循環ポンプの作動確認をしてください)

#### ●クーラー、循環ポンプ共に作動している場合

機械周りの風通し、クーラーの凝縮機にホコリ等の目詰まりがないかご確認ください。(ホコリ等を取り除き風通しを良くし、放熱効率を良くしてください)

#### ●クーラーのみ作動している場合

循環ポンプ、ろ材の目詰まり、ろ過槽の水位低下等、循環ポンプに関する原因が考えられます。循環ポンプが止まっている場合はクーラー、ヒーターの故障にもつながりますので、それぞれの電源も切ってください。

#### ●循環ポンプのみ作動している場合

クーラーの電源(100V)の通電をご確認ください。コントローラー、センサー、コンプレッサー、冷却ファンモーターの不良等が考えられます。

### 2) 水温が低すぎる場合

- ヒーター(別売)が作動しているか、ご確認ください。
- コントローラーのセンサー不良等が考えられます。

### 3) 活魚の死亡及び水質の急変

活魚水槽は、ろ過、水温、エアレーションの三つの能力が発揮されて初めて水槽としての能力を果たします。水温が設定通りで水に泡立ち、異臭、濁り等がなければまず、必要な能力は各々発揮されていると考えられます。それでも多くの活魚が死亡する場合は、再度活魚の吟味をしてください。(外傷、輸送疲れ、傷み、餌切りの状態、輸送中の水温が適温と大きく変動はないかなど確認してください)

- 活魚は常に状態の良いものを選び、水温にも十分気配りし、水慣らしをして放流してください。
- 死亡した活魚は速やかに取り除いてください。  
(放置しますと魚のヌメリ、鱗などが水質を悪化させます)
- 輸送中の水を大量に水槽に入れしないでください。  
(輸送中の水は、すでに魚のヌメリ・フン・鱗などが含まれている為、水槽へ活魚を移動する際は必要以上入れないよう配慮が必要です)



<https://www.zensui.co.jp/>

■本 社 〒566-0052 大阪府摂津市烏飼本町 5-1-16 TEL: 072-654-3743 FAX: 072-654-3753  
■関東営業所 〒345-0036 埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸 1-9-20 TEL: 0480-33-2058 FAX: 0480-33-2059